

# NL

November  
2024

室蘭工業大学  
パブリックリレーションズオフィス  
ニュースレター 第1号

## 社会的インパクト 表現プロジェクト

Project for expression  
of social impact

01



室蘭工業大学 しくみ説明系領域  
化学生物工学ユニット 教授

山中 真也 先生



室蘭工業大学 ひと文化系領域  
言語科学・国際交流ユニット  
准教授

山田 祥子 先生



### プロジェクトが 始まるまで

室蘭工業大学(以下、室工大)は「創造的な科学技術で夢をかたちに」という理念を掲げ、教育・研究・社会との共創に取り組んできました。

令和6年度から新たに、「真なる探究心から未来の価値づくりを。」という学長ビジョンが掲げられました。この「価値づくり」は、2060年の世界からバックキャストして作り上げた「北海道MONOづくりビジョン2060-「ものづくり」から「価値づくり」へ」にも示されています。

「価値づくり」は、新たな活動からだけでなく、実はこれまでの活動と社会との関係の中からもすでに生み出されています。そこで、このような考えに基づき、教職員一人ひとりが、社会とのつながりとおして自身の活動を見つめ直すことで価値を発見し、その価値を表現する「室工大社会的インパクト表現プロジェクト」が立ち上がりました。

このプロジェクトを推進するのはMONOづくりみらい共創機構の組織のひとつ、パブリックリレーションズオフィス(以下PRオフィス)です。

PRオフィス長の山中真也教授と

# 社会的インパクト 表現プロジェクト

一人ひとりが活動を見つめ直す

理工学的なアプローチで地域社会とともに歩んできた室蘭工業大学。その活動は社会にどのような変化をもたらしているのでしょうか？そして、これから、どのような変化をもたらすのでしょうか？地域社会とのコミュニケーションと協働によって、新しい連携プラットフォームやエコシステムを創り出すことにつながります。さあ、地域社会に与える影響、「社会的インパクト」の表現を始めましょう！



PRオフィス立ち上げのタスクフォースから関わっている山田祥子准教授に、このプロジェクトをどのように進めていこうとしているのか、お話を伺いました。

### 社会的インパクトを 表現するとは

一室工大の社会的インパクト表現プロジェクトの具体的な活動を教えてください。

山中 室工大の構成員である教職員の活動が社会や環境にもたらした変化や効果である、社会的インパクトを可視化して、学内外に広く知ってもらおう活動です。

山田 これまで、例えば研究者は論文数や研究資金の獲得数といったアウトプットで評価される部分が多かったですよね。でも最近では、その研究活動や教育活動、あるいは共創活動が、社会をどう変えたかという成果としてのアウトカムが評価されるようになってきました。また、アウトカムの積み重ねによってもたらされる中長期的な変化、ないし実質効果を「社会的インパクト」といいますが、それを創り出すことも求められてきています。

そこで、室工大の社会的インパクトをどのように表現し、発信するかを考える、社会的インパクトタスクフォースが作られ、その中で、このプ

ロジェクトが企画されました。山中 教職員の活動の社会的インパクトには、さまざまな形があります。例えば、地域の経済が活性化したり、人々のつながりが変化したり、自然環境に影響したりといった形です。社会システムに対する影響である社会的インパクトは、個人によっても、あるいは同じ教員でも研究活動や教育活動や社会との共創活動といった活動内容によっても異なると思います。

だから、まずは室工大の教職員一人ひとりが、自分の活動に関係する社会的インパクトをよく理解した上で、それを表現する必要があると考えています。

## 社会的インパクトってなに？

例えばトレーニングチームを作って活動した場合...



時間と  
お金を  
かけて

資源  
インプット

活動  
アクティビティ



結果  
アウトプット

筋肉が増える！

成果=変化  
アウトカム



身体が  
健康に！

みんなが健康になり、  
活気のある地域に！



実質効果  
インパクト

## 今ある原石を磨き上げるだけで

—社会的インパクト表現プロジェクトを進めるための具体的な方法を教えてください。

**山田** 教職員が実施している活動をピカピカに磨いて見せることで、社会的インパクトとしての価値が見えてくるようにしたいと考えています。

本プロジェクトの理念をつくった船水尚行・元理事が「すでにこの大学の中に在る“価値”を、うまく表現するだけでよい」とよく言われていたように、社会的インパクトの原石ともいえる素材はすでに在ります。

具体的なステップとしては、まず教職員の活動の結果であるアウトプットが社会にもたらす成果、アウトカムに注目してもらいます。次に、そのアウトカムから、こちらが提示する9つの指標を使って、社会的インパクトを捉えてもらうようにします。そうして、教職員が自らの活動によって社会に引き起こされる中期的な変化を可視化する。私たちはこのプロセスをサポートしようと考えています。

本プロジェクトは、教職員「自ら」が社会的インパクトを表現すること

を目指しています。学内で行われている活動がより輝くために、事例という形でヒントを出して、その価値に気づいて表現してもらおうお手伝いになります。

## 価値を見つける9つの指標とは

—社会的インパクト表現プロジェクトで9つの指標が示されていますが、どのように使えばよいのでしょうか？

**山中** 教職員一人ひとりが、この社会的インパクトの9つの指標を活用し、自分の研究の価値を可視化してもらいたいと思っています。

**山田** この9つの指標を使う理由は、いきなり社会的インパクトを表現してくださいと言われても難しいと思うからです。室工大で行われている研究は多様なので、いろいろと検討した上で、9つの指標が選ばれました。もしかしたら足りないかもしれませんが、この中から、自身の活動にあてはまるものを選んでもらって、表現するきっかけになればと思っています。

例えば、私の研究や社会との共創活動は9つの指標のうちの「交流」にあてはまると考えます。私は言語学の立場からサハリンの先住民の

## 室工大の社会的インパクト表現のための9つの指標はなにがあるの？



文化を研究しているのですが、それを本やイベントで紹介すると、興味を持った人がいつかサハリンに旅行するかもしれません。あるいは、社会との共創活動でアイヌ文化のことを室工大で紹介したら、学生や市民が、アイヌ文化って面白いと思って、例えばアイヌ文化の伝承者との交流が生まれるかもしれません。このようにして、人と人とのつながりが

広がったら、社会的インパクトとして考えられるのではと思っています。

**山中** 自身の活動の社会的インパクトを自分で気づくことが大事なので、とりあえず、9つの指標からあてはまりそうなものを選んでもらい、価値を見つけ出してもらいたいと思っています。

## 本プロジェクトが進める社会的インパクト“表現”はどうやって進める？



## プロジェクトを進めるために

—社会的インパクト表現プロジェクトでは、どのような計画を考えていますか？

**山中** 事例紹介や気づきの機会を作ること考えています。

まず、PRオフィスが発行するニュースレターで、地域と一緒に活動している室工大の教員の事例を

紹介したいと思っています。それを参考にするので、一人ひとりが自分自身のことを振り返る機会となることを期待しています。

**山田** 文系や基礎研究はすぐに実学に結びつかないなど、分野によって不利に感じられる場合もあると思います。現在、教職員自身で表現できるように、このプロジェクトを進めています。事例を紹介することで、社会的インパクトを表現しやすく

なると良いなと思っています。

**山中** 令和7年1月8日には社会的インパクト表現ワークショップの開催を企画しています。社会的インパクトについての理解が深まり、自身の活動を他の人と話すことで、思わぬ気づきがあるかもしれません。

**山田** さらに、大学として次のステップである社会的インパクトの「評価」をどのように進めていくかについても、検討してゆきます。個々人

が社会的インパクトを表現できるようになることが、組織として社会的インパクト評価を受ける備えになると思っています。



### Contact us



「室蘭工業大学の知られざる価値を地域に届ける」  
室蘭工業大学パブリックリレーションズオフィス

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号 Email: office-pr@muroran-it.ac.jp

### Questionnaire

室蘭工業大学パブリックリレーションズ  
オフィスニュースレター第1号の  
アンケートにご協力ください。

<https://forms.office.com/r/sVtnmxtGfU>

